

島根原子力発電所第2号機 審査資料	
資料番号	NS2-本-008-18
提出年月日	2022年8月4日

島根原子力発電所第2号機 工事計画審査資料  
原子炉格納施設のうち圧力低減設備その他の安全設備  
(原子炉格納容器調気設備 窒素ガス制御系)

(本文)

2022年8月

中国電力株式会社

3. 圧力低減設備その他の安全設備

(7) 放射性物質濃度制御設備及び可燃性ガス濃度制御設備並びに格納容器再循環設備

(8) 原子炉格納容器調気設備

(8.1) 窒素ガス制御系

ニ 主要弁

ホ 主配管

不活性ガス系

ロ 蒸発器

不活性ガス発生装置（置換用）（1号機設備）

ホ 主配管（1号機設備）

(8) 原子炉格納容器調気設備に係る次の事項

(8.1) 窒素ガス制御系

ニ 主要弁の名称，種類，最高使用圧力，最高使用温度，主要寸法，材料，駆動方法，個数及び取付箇所

		変 更 前	変 更 後	
名	称*1	AV217-2	変更なし	
種	類	—		止め弁
最	高 使 用 圧 力	MPa		0.427*2, *3
最	高 使 用 温 度	℃		171*2
主 要 寸 法	呼 び 径	(A)		600
	弁 箱 厚 さ*4	mm		□以上
	弁 ふ た 厚 さ *4	mm		□以上
材 料	弁 箱	—		□
	弁 ふ た	—		□*5
駆 動 方 法		—		空気作動
個 数		—		1
取 付 箇 所	系 統 名 ( ラ イ ン 名 )	—		AV217-2 (窒素ガス制御系) *4
	設 置 床	—		原子炉建物 EL 8800mm*4
	溢水防護上の区画番号	—		—
	溢 水 防 護 上 の 配 慮 が 必 要 な 高 さ	—		

注記\*1：記載の適正化を行う。既工事計画書には「弁番号」と記載

\*2：既工事計画書に記載がないため記載の適正化を行う。記載内容は，既工事計画書の主配管「窒素ガス制御系サージタンクからドライウエルまで」による。

\*3：S I 単位に換算したものである。

\*4：既工事計画書に記載がないため記載の適正化を行う。記載内容は，設計図書による。

\*5：記載の適正化を行う。既工事計画書には「—」と記載

		変 更 前	変 更 後	
名 称 <sup>*1</sup>		AV217-3	変更なし	
種 類	—	止め弁		
最 高 使 用 圧 力	MPa	0.427 <sup>*2, *3</sup>		
最 高 使 用 温 度	℃	171 <sup>*2</sup>		
主 要 寸 法	呼 び 径	(A)		600
	弁 箱 厚 さ <sup>*4</sup>	mm		□以上
	弁 ふ た 厚 さ <sup>*4</sup>	mm		□以上
材 料	弁 箱	—		□
	弁 ふ た	—		□ <sup>*5</sup>
駆 動 方 法		—		空気作動
個 数		—		1
取 付 箇 所	系 統 名 ( ラ イ ン 名 )	—		AV217-3 (窒素ガス制御系) <sup>*4</sup>
	設 置 床	—		原子炉建物 EL 8800mm <sup>*4</sup>
	溢水防護上の区画番号	—		—
	溢水防護上の 配慮が必要な高さ	—		

注記\*1：記載の適正化を行う。既工事計画書には「弁番号」と記載

\*2：既工事計画書に記載がないため記載の適正化を行う。記載内容は、既工事計画書の主配管「窒素ガス置換配管（ドライウエル）」の分岐点からサブプレッションチェンバまで」による。

\*3：S I 単位に換算したものである。

\*4：既工事計画書に記載がないため記載の適正化を行う。記載内容は、設計図書による。

\*5：記載の適正化を行う。既工事計画書には「—」と記載

		変更前	変更後
名	称*1	AV217-4	MV217-4*2
種	類	—	止め弁
最	高 使 用 圧 力	MPa	0.427*3, *4
最	高 使 用 温 度	℃	171*3
主 要 寸 法	呼 び 径	(A)	600
	弁 箱 厚 さ	mm	□以上*6
	弁 ふ た 厚 さ	mm	□以上*6
材 料	弁 箱	—	□
	弁 ふ た	—	□*7
駆 動 方 法		—	空気作動
個 数		—	1
取 付 箇 所	系 統 名 ( ラ イ ン 名 )	—	AV217-4 (窒素ガス制御系)*6
	設 置 床	—	原子炉建物 EL 23800mm*6
	溢水防護上の区画番号	—	—
	溢水防護上の 配慮が必要な高さ	—	—
			R-2F-15N
			EL 24042mm 以上

注記\*1：記載の適正化を行う。既工事計画書には「弁番号」と記載

\*2：原子炉冷却系統施設のうち残留熱除去設備（格納容器フィルタベント系）及び圧力低減設備その他の安全設備の放射性物質濃度制御設備及び可燃性ガス濃度制御設備並びに格納容器再循環設備（格納容器フィルタベント系）並びに圧力逃がし装置（格納容器フィルタベント系）と兼用

\*3：既工事計画書に記載がないため記載の適正化を行う。記載内容は、既工事計画書の主配管「ドライウエルから空調換気系との取合点まで」による。

\*4：S I 単位に換算したものである。

\*5：重大事故等時における使用時の値

\*6：既工事計画書に記載がないため記載の適正化を行う。記載内容は、設計図書による。

\*7：記載の適正化を行う。既工事計画書には「—」と記載

			変更前	変更後
名称 <sup>*1</sup>			AV217-5	MV217-5 <sup>*2</sup>
種類	類	—	止め弁	変更なし
最高使用圧力		MPa	0.427 <sup>*3, *4</sup>	変更なし 0.853 <sup>*5</sup>
最高使用温度		℃	171 <sup>*3</sup>	変更なし 200 <sup>*5</sup>
主要寸法	呼び径	(A)	600	変更なし
	弁箱厚さ	mm	□以上 <sup>*6</sup>	□以上
	弁ふた厚さ	mm	□以上 <sup>*6</sup>	□以上
材料	弁箱	—	□	□
	弁ふた	—	□ <sup>*7</sup>	□ □
駆動方法		—	空気作動	電気作動
個数		—	1	変更なし
取付箇所	系統名 (ライン名)	—	AV217-5 (窒素ガス制御系) <sup>*6</sup>	MV217-5 (窒素ガス制御系)
	設置床	—	原子炉建物 EL 8800mm <sup>*6</sup>	変更なし
	溢水防護上の区画番号	—	—	R-B2F-31N
	溢水防護上の 配慮が必要な高さ	—		EL 8708mm 以上

注記\*1：記載の適正化を行う。既工事計画書には「弁番号」と記載

\*2：圧力低減設備その他の安全設備の放射性物質濃度制御設備及び可燃性ガス濃度制御設備並びに格納容器再循環設備（格納容器フィルタベント系）及び圧力逃がし装置（格納容器フィルタベント系）並びに原子炉冷却系統施設のうち残留熱除去設備（格納容器フィルタベント系）と兼用

\*3：既工事計画書に記載がないため記載の適正化を行う。記載内容は、既工事計画書の主配管「サプレッションチェンバから「ドライウェルから空調換気系との取合点まで」の合流点まで」による。

\*4：S I 単位に換算したものである。

\*5：重大事故等時における使用時の値

\*6：既工事計画書に記載がないため記載の適正化を行う。記載内容は、設計図書による。

\*7：記載の適正化を行う。既工事計画書には「—」と記載

		変更前	変更後	
名称 <sup>*1</sup>		AV217-7	変更なし	
種類	—	止め弁		
最高使用圧力	MPa	1.77 <sup>*2, *3</sup>		
最高使用温度	℃	171 <sup>*2</sup>		
主要寸法	呼び径	(A)		50
	弁箱厚さ <sup>*4</sup>	mm		<input type="text"/> 以上
	弁ふた厚さ <sup>*4</sup>	mm		<input type="text"/> 以上
材料	弁箱	—		<input type="text"/>
	弁ふた	—		<input type="text"/>
駆動方法		—		空気作動
個数		—		1
取付箇所	系統名 (ライン名)	—		AV217-7 (窒素ガス制御系) <sup>*4</sup>
	設置床	—		原子炉建物 EL 8800mm <sup>*4</sup>
	溢水防護上の区画番号	—		—
	溢水防護上の 配慮が必要な高さ	—		

注記\*1：記載の適正化を行う。既工事計画書には「弁番号」と記載

\*2：既工事計画書に記載がないため記載の適正化を行う。記載内容は、既工事計画書の主配管「窒素ガス制御系窒素ガス補給装置から「窒素ガス置換配管（ドライウエル）」の合流点まで」による。

\*3：S I 単位に換算したものである。

\*4：既工事計画書に記載がないため記載の適正化を行う。記載内容は、設計図書による。

		変更前		変更後	
名称 <sup>*1</sup>		AV217-8A, B <sup>*2</sup>		変更なし	
種類	—	止め弁			
最高使用圧力	MPa	0.427 <sup>*3, *4</sup>			
最高使用温度	℃	171 <sup>*3</sup>			
主要寸法	呼び径	(A)	50		
	弁箱厚さ <sup>*5</sup>	mm	<input type="text"/> 以上		
	弁ふた厚さ <sup>*5</sup>	mm	<input type="text"/> 以上		
材料	弁箱	—	<input type="text"/>		
	弁ふた	—	<input type="text"/>		
駆動方法		—	空気作動		
個数		—	2		
取付箇所	系統名 (ライン名)	—	AV217-8A (窒素ガス制御系) <sup>*5</sup>		AV217-8B (窒素ガス制御系) <sup>*5</sup>
	設置床	—	原子炉建物 EL 8800mm <sup>*5</sup>		原子炉建物 EL 8800mm <sup>*5</sup>
	溢水防護上の区画番号	—	—		
	溢水防護上の 配慮が必要な高さ	—	—		

注記\*1：記載の適正化を行う。既工事計画書には「弁番号」と記載

\*2：記載の適正化を行う。既工事計画書には「AV217-8」と記載

\*3：既工事計画書に記載がないため記載の適正化を行う。記載内容は、既工事計画書の主配管「窒素ガス制御系窒素ガス補給装置から「窒素ガス置換配管（ドライウエル）」の合流点まで」による。

\*4：S I 単位に換算したものである。

\*5：既工事計画書に記載がないため記載の適正化を行う。記載内容は、設計図書による。



		変更前		変更後	
名称 <sup>*1</sup>		AV217-10A, B <sup>*2</sup>		変更なし	
種類	—	止め弁			
最高使用圧力	MPa	0.427 <sup>*3, *4</sup>			
最高使用温度	℃	104 <sup>*3</sup>			
主要寸法	呼び径	(A)	600		
	弁箱厚さ <sup>*5</sup>	mm	□以上		
	弁ふた厚さ <sup>*5</sup>	mm	□以上		
材料	弁箱	—	□		
	弁ふた	—	□ <sup>*6</sup>		
駆動方法		—	空気作動		
個数		—	2		
取付箇所	系統名 (ライン名)	—	AV217-10A (窒素ガス制御系) <sup>*5</sup>		AV217-10B (窒素ガス制御系) <sup>*5</sup>
	設置床	—	原子炉建物 EL 8800mm <sup>*5</sup>		原子炉建物 EL 8800mm <sup>*5</sup>
	溢水防護上の区画番号	—	—		
	溢水防護上の 配慮が必要な高さ	—	—		

注記\*1：記載の適正化を行う。既工事計画書には「弁番号」と記載

\*2：記載の適正化を行う。既工事計画書には「AV217-10」と記載

\*3：既工事計画書に記載がないため記載の適正化を行う。記載内容は、既工事計画書の主配管「原子炉建物開放口から「窒素ガス置換配管（サプレッションチェンバ）」の合流点まで」による。

\*4：S I 単位に換算したものである。

\*5：既工事計画書に記載がないため記載の適正化を行う。記載内容は、設計図書による。

\*6：記載の適正化を行う。既工事計画書には「—」と記載

			変 更 前	変 更 後
名 称 <sup>*1</sup>			AV217-18	MV217-18 <sup>*2</sup>
種 類		—	止め弁	変更なし
最 高 使 用 圧 力	MPa		0.427 <sup>*3, *4</sup>	変更なし 0.853 <sup>*5</sup>
最 高 使 用 温 度	℃		171 <sup>*3</sup>	変更なし 200 <sup>*5</sup>
主 要 寸 法	呼 び 径	(A)	400	変更なし
	弁 箱 厚 さ	mm	□以上 <sup>*6</sup>	□
	弁 ふ た 厚 さ	mm	□以上 <sup>*6</sup>	□以上
材 料	弁 箱	—	□	□
	弁 ふ た	—	□ <sup>*7</sup>	□ □
駆 動 方 法		—	空気作動	電気作動
個 数		—	1	変更なし
取 付 箇 所	系 統 名 ( ラ イ ン 名 )	—	AV217-18 (窒素ガス制御系) <sup>*6</sup>	MV217-18 (窒素ガス制御系)
	設 置 床	—	原子炉建物 EL 34800mm <sup>*6</sup>	変更なし
	溢水防護上の区画番号	—	—	R-3F-04-1N, R-3F-04-2N, R-3F-07N, R-3F-16-1N
	溢水防護上の 配慮が必要な高さ	—		EL 35381mm 以上

注記\*1：記載の適正化を行う。既工事計画書には「弁番号」と記載

\*2：圧力低減設備その他の安全設備の放射性物質濃度制御設備及び可燃性ガス濃度制御設備並びに格納容器再循環設備（格納容器フィルタベント系）及び圧力逃がし装置（格納容器フィルタベント系）並びに原子炉冷却系統施設のうち残留熱除去設備（格納容器フィルタベント系）と兼用

\*3：既工事計画書に記載がないため記載の適正化を行う。記載内容は、既工事計画書の主配管「ドライウェルから空調換気系との取合点まで」の分岐点から非常用ガス処理系との取合点まで」による。

\*4：S I 単位に換算したものである。

\*5：重大事故等時における使用時の値

\*6：既工事計画書に記載がないため記載の適正化を行う。記載内容は、設計図書による。

\*7：記載の適正化を行う。既工事計画書には「—」と記載

		変更前		変更後	
名 称*1		AV217-19		変更なし	
種 類	—	止め弁			
最 高 使 用 圧 力	MPa	0.427*2, *3			
最 高 使 用 温 度	℃	171*2			
主 要 寸 法	呼 び 径	(A)	600		
	弁 箱 厚 さ*4	mm	□以上		
	弁 ふ た 厚 さ*4	mm	□以上		
材 料	弁 箱	—	□		
	弁 ふ た	—	□*5		
駆 動 方 法		—	空気作動		
個 数		—	1		
取 付 箇 所	系 統 名 ( ラ イ ン 名 )	—	AV217-19 (窒素ガス制御系)*4		
	設 置 床	—	原子炉建物 EL 34800mm*4		
	溢水防護上の区画番号	—	—		
	溢水防護上の 配慮が必要な高さ	—			

注記\*1：記載の適正化を行う。既工事計画書には「弁番号」と記載

\*2：既工事計画書に記載がないため記載の適正化を行う。記載内容は、既工事計画書の主配管「ドライウェルから空調換気系との取合点まで」による。

\*3：S I 単位に換算したものである。

\*4：既工事計画書に記載がないため記載の適正化を行う。記載内容は、設計図書による。

\*5：記載の適正化を行う。既工事計画書には「—」と記載

ホ 主配管の名称, 最高使用圧力, 最高使用温度, 外径, 厚さ及び材料

変更前						変更後														
名称	最高使用圧力 (MPa)	最高使用温度 (°C)	外径*1 (mm)	厚さ (mm)	材料	名称	最高使用圧力 (MPa)	最高使用温度 (°C)	外径 (mm)	厚さ (mm)	材料									
窒素ガス制御系	窒素ガス制御系サージタンク ～ 第1号機不活性ガス発生装置 (置換用) 出口ライン合流部*2, *3, *4	0.98*5	66	267.4	9.3*1	STPT42	変更なし													
				165.2	7.1*1	STPT42														
				355.6	11.1*1	STPT42														
	第1号機不活性ガス発生装置 (置換用) 出口ライン合流部 ～ 弁AV217-6出口ライン合流部*2, *3, *4	0.98*5	66	406.4	9.5*1	STPT42							変更なし							
				445.0*6	2.0*1, *6×1*6, *7	SUS316*6														
				406.4*6	9.5*1, *6	STPT410*6														
				406.4	9.5*1	STPT42														
				609.6*8 / 406.4*8	□*8 (9.5*1, *8)	SM41C*8														
				609.6 / 619.2	□*8 (9.5*1) / □*8 (14.3*1)	SM41C / SM41C														
	弁AV217-6出口ライン合流部 ～ 弁AV217-3入口ライン分岐部*2, *3, *4	0.427*5	171	619.2	□*8 (14.3*1)	SM41C	変更なし													
				609.6	□*8 (9.5*1)	SM41C														

変更前						変更後						
名 称	最高使用 圧 力 (MPa)	最高使用 温 度 (℃)	外 径*1 (mm)	厚  さ (mm)	材 料	名 称	最高使用 圧 力 (MPa)	最高使用 温 度 (℃)	外 径 (mm)	厚  さ (mm)	材 料	
窒素ガス制御系	弁AV217-3入口ライン分岐部 ～ 弁AV217-2*2, *3, *4	0.427*5	171	619.2	□*8(14.3*1)	SM41C	変更なし					
				609.6	□*8(9.5*1)	SM41C						
				609.6*8, *9	9.5*1, *8, *9	STPT42*8, *9						
	弁AV217-2 ～ 弁AV217-8A出口ライン合流部*2, *3	0.427*5	171	609.6	□*8(9.5*1)	SM41C	変更なし					
	弁AV217-8A出口ライン合流部 ～ ドライウエル*2, *3	0.427*5	171	77.0*6	□*6(7.95*1, *6)	S25C*6	変更なし					
				69.3*6	□*6(8.3*1, *6)	S25C*6						
				609.6	□*8(9.5*1)	SM41C						
				609.6*8 /508.0*8	□*8(9.5*1, *8) /□*8(9.5*1, *8)	SM41C*8						
	弁V17-201 ～ 第1号機不活性ガス発生装置(置換用)出口ライン合流部*10	0.98*5	66	355.6	11.1*1	STPT42	—*11					
				382.5*6	1.5*1, *6×1*6, *7	SUS316*6						

変更前						変更後						
名称	最高使用 圧力 (MPa)	最高使用 温度 (°C)	外 径*1 (mm)	厚 さ (mm)	材 料	名称	最高使用 圧力 (MPa)	最高使用 温度 (°C)	外 径 (mm)	厚 さ (mm)	材 料	
窒素ガス制御系	弁AV217-3入口ライン分岐部 ～ 弁AV217-3*4, *12, *13	0.427*5	171	619.2	□*8(14.3*1)	SM41C	変更なし	0.427*5	104	609.6	□*8(9.5*1)	SM41C
				609.6	□*8(9.5*1)	SM41C						
	弁AV217-3 ～ 弁AV217-8B出口ライン合流部*12, *13	0.427*5	104	609.6	□*8(9.5*1)	SM41C		変更なし				
	弁AV217-8B出口ライン合流部 ～ 弁AV217-10A出口ライン合流部*12, *13	0.427*5	104	77.0*6	□*6(7.95*1, *6)	S25C*6		変更なし				
				69.3*6	□*6(8.3*1, *6)	S25C*6						
				609.6	□*8(9.5*1)	SM41C						
				619.2	□*8(14.3*1)	SM41C						
	弁AV217-10A出口ライン合流部 ～ 弁AV217-10B出口ライン合流部*12, *13	0.427*5	104	619.2	□*8(14.3*1)	SM41C		変更なし				
				609.6	□*8(9.5*1)	SM41C						

変更前						変更後					
名 称	最高使用 圧 力 (MPa)	最高使用 温 度 (°C)	外 径*1 (mm)	厚 さ (mm)	材 料	名 称	最高使用 圧 力 (MPa)	最高使用 温 度 (°C)	外 径 (mm)	厚 さ (mm)	材 料
弁AV217-10B出口 ライン合流部 ～ サプレッションチ ェンバ*12, *13	0.427*5	104	619.2	□*8(14.3*1)	SM41C	変更なし					
			609.6	□*8(9.5*1)	SM41C						
			609.6*8, *9	9.5*1, *8, *9	STPT42*8, *9						
			609.6*8 /508.0*8	□*8(9.5*1, *8) /□*8(9.5*1, *8)	SM41C*8						
弁AV217-9A, B ～ 弁AV217-10A, B *4, *14	0.427*5	104	609.6	□*8(9.5*1)	SM41C	変更なし					
弁AV217-10A, B ～ 弁AV217-10A, B出 口ライン合流部*14	0.427*5	104	609.6	□*8(9.5*1)	SM41C	変更なし					
			619.2	□*8(14.3*1)	SM41C						
窒素ガス制御系窒 素ガス補給装置 ～ 逃がし安全弁窒素 ガス供給ライン分 岐部*4, *15, *16	1.77*5	66	60.5*6	5.5*1, *6	STPT410*6	変更なし					
			60.5	5.5*1	STPT42						

変更前						変更後					
名称	最高使用圧力 (MPa)	最高使用温度 (°C)	外径*1 (mm)	厚さ (mm)	材料	名称	最高使用圧力 (MPa)	最高使用温度 (°C)	外径 (mm)	厚さ (mm)	材料
逃がし安全弁窒素ガス供給ライン分岐部 ～ 弁AV217-7*4, *15, *16	1.77*5	66	60.5	5.5*1	STPT42	変更なし					
			34.0	4.5*1	STPT42						
			21.7	3.7*1	STPT42						
			33.0*6	□*6 (5.4*1, *6)	S25C*6						
弁AV217-7 ～ 弁AV217-8B入口ライン分岐部*15, *16	0.427*5	171	60.5	5.5*1	STPT42	変更なし					
			61.1*6, *17 /61.1*6, *17 /61.1*6, *17	6.9*6, *17 /6.9*6, *17 /6.9*6, *17	S25C*6						
弁AV217-8B入口ライン分岐部 ～ 弁AV217-8A出口ライン合流部*15, *16	0.427*5	171	60.5	5.5*1	STPT42	変更なし					
			61.1*6, *17 /61.1*6, *17 /—	6.9*6, *17 /6.9*6, *17 /—	S25C*6						
			61.1*6, *17	6.9*6, *17	S25C*6						
逃がし安全弁窒素ガス供給ライン分岐部 ～ 弁V227-4*4, *6	1.77*5	66	60.5	5.5*1	STPT42	変更なし					
			60.5	□ (5.5*1)	S25C						
			60.5	5.5*1	SUS304TP						

窒素ガス制御系



変更前						変更後							
名 称	最高使用 圧 力 (MPa)	最高使用 温 度 (°C)	外 径*1 (mm)	厚 さ (mm)	材 料	名 称	最高使用 圧 力 (MPa)	最高使用 温 度 (°C)	外 径*1 (mm)	厚 さ*1 (mm)	材 料		
窒素ガス制御系	弁AV217-8B入口ライン分岐部 ～ 弁AV217-8B出口ライン合流部*18	0.427*5	171	60.5	5.5*1	STPT42	窒素ガス制御系	変更なし					
			104	60.5	5.5*1	STPT42							
				61.1*6, *17	6.9*6, *17	S25C*6							
	ドライウエル ～ サプレッションチェンバ出口ラ イン合流部*19	0.427*5	171	609.6*8	□*8(9.5*1, *8)	SM41C*8		ドライウエル ～ サプレッションチェンバ出口ラ イン合流部*20	変更なし 0.853*21	変更なし 200*21	変更なし		
				/508.0*8	/□*8(9.5*1, *8)								
				609.6	□*8(9.5*1)	SM41C							
				609.6*8, *9	9.5*1, *8, *9	STPT42*8, *9							
	サプレッションチェンバ出口ラ イン合流部 ～ 原子炉棟空調換気系分岐部*19	0.427*5	171	619.2	□*8(14.3*1)	SM41C		サプレッションチェンバ出口ラ イン合流部 ～ 原子炉棟空調換気系分岐部*20	変更なし 0.853*21	変更なし 200*21	変更なし		
				609.6	□*8(9.5*1)	SM41C							
				609.6*8, *9	9.5*1, *8, *9	STPT42*8, *9							
	原子炉棟空調換気系分岐部 ～ 弁AV217-19*19	0.427*5	171	619.2	□*8(14.3*1)	SM41C		変更なし					
				609.6	□*8(9.5*1)	SM41C							
	サプレッションチェンバ ～ サプレッションチェンバ出口ラ イン合流部*22	0.427*5	104	609.6*8	□*8(9.5*1, *8)	SM41C*8		サプレッションチェンバ ～ サプレッションチェンバ出口ラ イン合流部*20	変更なし 0.853*21	変更なし 200*21	変更なし		
				/508.0*8	/□*8(9.5*1, *8)								
			171	609.6*6	□*6(9.5*1, *6)	SM400C*6							
				609.6*8, *9	9.5*1, *8, *9	STPT42*8, *9							
	原子炉棟空調換気系分岐部 ～ 弁MV217-23入口ライン分岐部*23	0.427*5	171	619.2	□*8(14.3*1)	SM41C		原子炉棟空調換気系分岐部 ～ 弁 MV217-23 入口ライン分岐部*20	変更なし 0.853*21	変更なし 200*21	変更なし		
				609.6	□*8(9.5*1)	SM41C							
609.6*8				□*8(9.5*1, *8)	SM41C*8								
弁MV217-23入口ライン分岐部 ～ 弁AV217-18*23	0.427*5	171		—		弁 MV217-23 入口ライン分岐部 ～ 弁 MV217-18*20	変更なし 0.853*21	変更なし 200*21	406.4	12.7	STPT410		
									/406.4	/12.7			

注：記載の適正化を行う。既工事計画書には名称欄文末に「～まで」と記載

注記\*1：公称値を示す。

\*2：記載の適正化を行う。既工事計画書には「窒素ガス置換配管（ドライウエル）」と記載

\*3：記載の適正化を行う。既工事計画書には「窒素ガス制御系サージタンクからドライウエルまで」と記載

\*4：本設備は記載の適正化のみを行うものであり、手続き対象外である。

\*5：S I 単位に換算したものである。

- \*6 : 既工事計画書に記載がないため記載の適正化を行う。記載内容は、設計図書による。
- \*7 : 層数を示す。
- \*8 : 既工事計画書に記載がないため記載の適正化を行う。記載内容は、昭和 60 年 12 月 25 日付け 60 資庁第 11431 号にて認可された工事計画の添付書類「IV-3-5-2-2-1 管の基本板厚計算書」による。
- \*9 : エルボを示す。
- \*10 : 記載の適正化を行う。既工事計画書には「第 1 号機不活性ガス発生装置（置換用）との取合点から「窒素ガス置換配管（ドライウエル）」の合流点まで」と記載
- \*11 : 当該配管については、1 号機不活性ガス系の 2 号機との共用取止めに伴い機能廃止とする。
- \*12 : 記載の適正化を行う。既工事計画書には「窒素ガス置換配管（サブプレッションチェンバ）」と記載
- \*13 : 記載の適正化を行う。既工事計画書には「窒素ガス置換配管（ドライウエル）」の分岐点からサブプレッションチェンバまで」と記載
- \*14 : 記載の適正化を行う。既工事計画書には「原子炉建物開放口から「窒素ガス置換配管（サブプレッションチェンバ）」の合流点まで」と記載
- \*15 : 記載の適正化を行う。既工事計画書には「窒素ガス補給配管」と記載
- \*16 : 記載の適正化を行う。既工事計画書には「窒素ガス制御系窒素ガス補給装置から「窒素ガス置換配管（ドライウエル）」の合流点まで」と記載
- \*17 : 差込み継手の差込み部内径及び最小厚さ
- \*18 : 記載の適正化を行う。既工事計画書には「窒素ガス補給配管」の分岐点から「窒素ガス置換配管（サブプレッションチェンバ）」の合流点まで」と記載
- \*19 : 記載の適正化を行う。既工事計画書には「ドライウエルから空調換気系との取合点まで」と記載
- \*20 : 圧力低減設備その他の安全設備の放射性物質濃度制御設備及び可燃性ガス濃度制御設備並びに格納容器再循環設備（格納容器フィルタベント系）及び圧力低減設備その他の安全設備の圧力逃がし装置（格納容器フィルタベント系）並びに原子炉冷却系統施設のうち残留熱除去設備（格納容器フィルタベント系）と兼用
- \*21 : 重大事故等時における使用時の値

- \*22 : 記載の適正化を行う。既工事計画書には「サプレッションチェンバから「ドライウエルから空調換気系との取合点まで」の合流点まで」と記載
- \*23 : 記載の適正化を行う。既工事計画書には「「ドライウエルから空調換気系との取合点まで」の分岐点から非常用ガス処理系との取合点まで」と記載

以下の設備は、既存の1号機設備、1、2号機共用であり、本工事計画で1号機設備とする。

不活性ガス系

ロ 蒸発器

不活性ガス発生装置（置換用）（1号機設備）

ホ 主配管（1号機設備）